

作成者：佐々木めい  
作成日：2026年1月07日

ご挨拶

皆様、明けましておめでとうございます。

2025年は、私自身にとって環境面・心理面の双方において大きな転機となる一年でした。留学を決意したことに加え、日本で進めていた就職活動を継続しながら、現地においても新たなコミュニティへ積極的に参加するなど、変化と挑戦の連続の年となりました。異なる文化や価値観の中で生活し、新しい人間関係を築く経験を重ねる中で、これまで支えてくださった家族や周囲の方々の存在の大きさを改めて実感しています。同時に、自身が多くの方々の支えの上に、現在の学びの機会を得ていることを強く意識するようになりました。

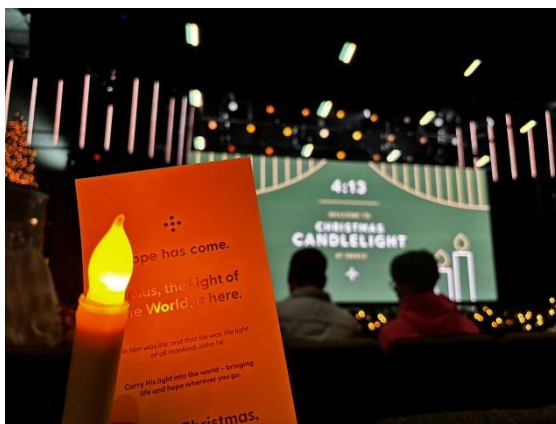
---

フロリダで過ごすクリスマスシーズン

12月は期末試験終了後から1月7日まで冬休みとなり、約一か月間のクリスマス休暇がありました。本報告では、この休暇期間中に経験した出来事についてご報告いたします。

私は約2年前にフロリダ州でホームステイをしていたご縁から、今年もクリスマスシーズンに再び招いていただき、約10日間を現地で過ごしました。滞在中は、オハイオ州では冬季に行うことが難しいゴルフを楽しんだほか、現地の友人と共にディズニーワールドを訪れるなど、充実した時間を過ごしました。ディズニーワールドでは、4つのパークを1日で巡ることができ、約23kmを歩く大変な一日ではありましたが、日本では体験できないアトラクションやキャラクターに触れることができ、非常に印象深い経験となりました。スター・ウォーズ関連のライドやアニマルキングダムサファリのサファリ、冬季限定のパレードなど、広大な敷地を持つディズニーワールドならではの魅力を存分に体感しました。また、訪問日は私の誕生日でもあり、誕生日バッジを着けていたことで、多くの来園者やキャストの方々から祝福の言葉をいただきました。中にはスターバックスでドリンクを提供していただく場面もあり、ディズニーワールドの高いホスピタリティを強く感じる一日となりました。

クリスマス当日は、教会での礼拝に参加した後、ホストファミリーの親族が集まり、プレゼント交換を行いました。宗教的・文化的背景を実体験として学ぶ貴重な機会となりました。



---

## フィンドレーで迎えた誕生日

誕生日の前日には、フィンドレーからフロリダへ移動するタイミングと、日本へ帰国する他の日本人留学生の出発日が重なったことから、合同で送別会兼誕生日祝いのパーティを開催しました。スイーツ作りが得意な友人が、私たちのために複数のケーキを用意してくれたり、別の友人が皆からのメッセージをまとめた動画を制作してくれたりと、多くの心遣いに支えられた時間でした。

幼い頃から「22歳の誕生日をアメリカで迎えること」が夢であったため、その夢を叶える手助けをしてくれた友人たちには、感謝の気持ちでいっぱいです。休暇中で多くの現地学生が帰省する中、日本人学生や近隣に住む現地の友人たちが集まってくれたこともあり、温かい人のつながりを改めて実感しました。

年末には、上記のメンバーと共に忘年会を行い、留学生活を振り返る機会を持ちました。8月からフィンドレーでの留学生活が始まって以来、特に強く感じているのは、与えられた機会に対して前向きに取り組む姿勢の重要性です。慣れない環境や言語の壁により、思うように意思疎通ができず、悔しさや戸惑いを感じる場面も多くありました。しかし、それら一つ

一つの経験が、自身の向上心を刺激し、人間関係の構築や適応力の向上につながっていると感じています。

近年、「コンフォートゾーンから抜け出し、自身の成長に投資すること」の重要性が広く語られていますが、それを継続的に実践することの難しさは、場所や状況を問わず共通するものであると実感しました。一方で、困難や後悔を伴う経験こそが、将来を形作る重要な糧となり、人生をより豊かにする契機になり得ると考えるようになりました。

本年も、挑戦や変化を恐れることなく、一つ一つの学びの機会を大切にしながら、学業および自己成長の双方に誠実に取り組んでまいります。



---

以上の文章につきまして、ご質問やご意見などございましたら下記メールアドレスまでご連絡ください。

[sasakim@findlay.edu](mailto:sasakim@findlay.edu)